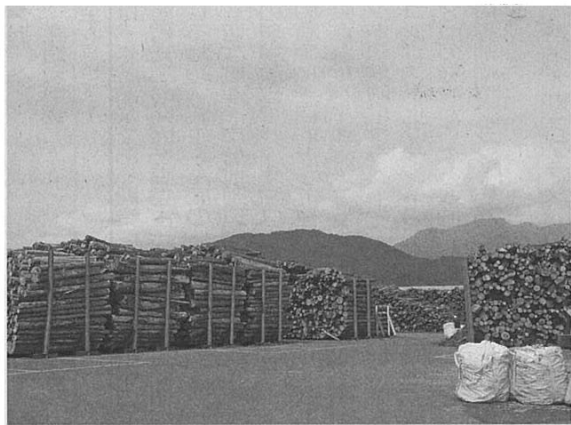


福井グリーンパワー 福井県大野市で木質バイオマス発電

地域と一体で事業展開 初年度稼働率は98%に

福井グリーンパワーが運営する大野発電所は、昨年4月の稼働開始から1年以上経過したが、安定稼働を続けている。同社は、福井県大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。同社は、福井県大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。



約13,000㎡の貯木スペースを確保

福井グリーンパワーは、大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。同社は、福井県大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。

丸太はチップ化され、チップヤードへと運ばれていく。また同社は、今年5月に大野市から農山漁村再生可能エネルギー法に基づき設備整備計画の認定を受け、これにより、地域資源バイオマス発電

島健二 福井グリーンパワー社長に聞く

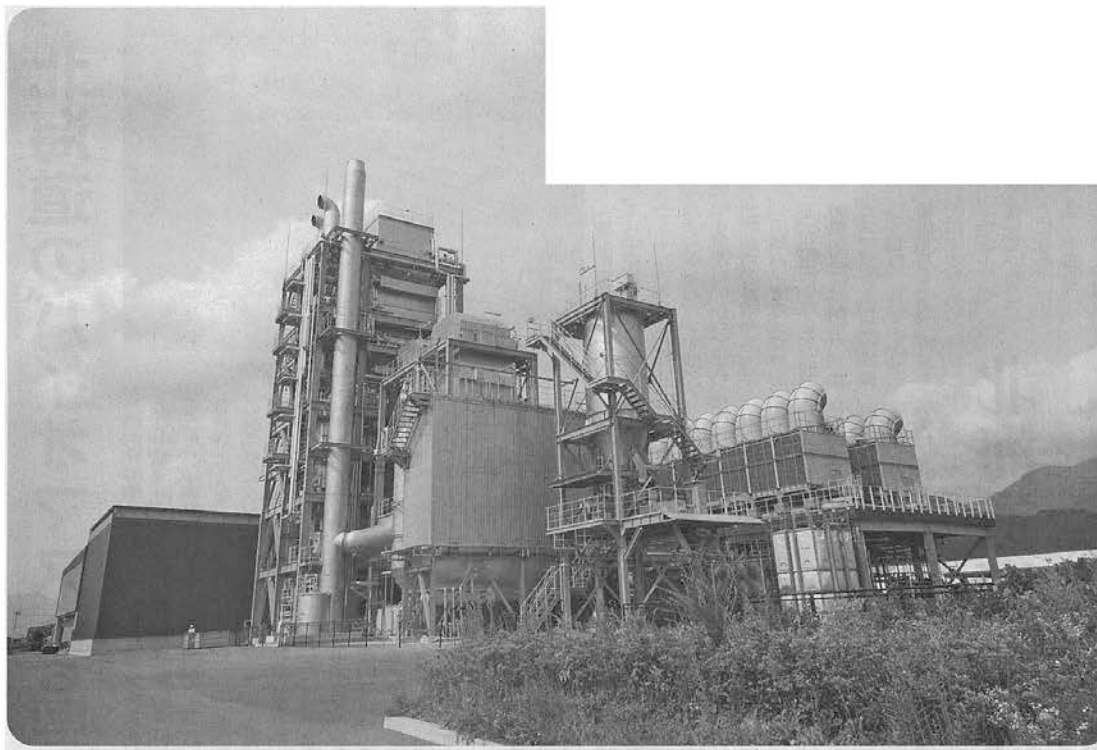
福井グリーンパワー大野は、大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。同社は、福井県大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。

「地域と協力して」

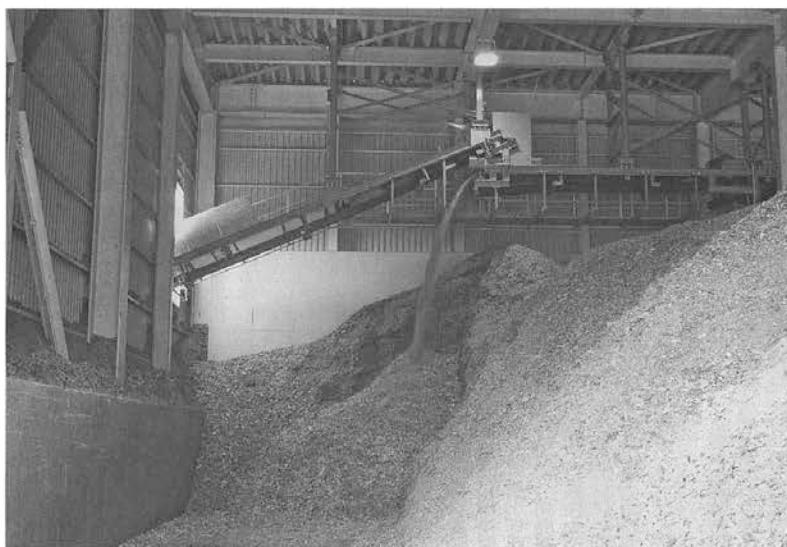


福井グリーンパワー大野は、大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。同社は、福井県大野市に、約13,000㎡の貯木スペースを確保し、出光興産(株)、丸山建設(株)と連携し、木質バイオマス発電事業を展開している。

設備の要件を満たすことになり、F-I-Tの出力制御の優遇措置を受けることができる。さらに、燃焼により発生する燃焼灰も地元で良い状態が確認でき、一体となった福井グリーンパワー大野発電所の今



昨年4月に稼働を開始した福井グリーンパワー大野発電所の全景



チップはコンベヤでチップヤードへと送られる



チップはホイールローダで受入ホッパに投入される。投入量は1日あたり200～250 t だという

木質バイオマス資源を最大限活用し、 山林保全・地域振興・地球環境保全に貢献します

本事業の意義

- 福井県内外から発生する木質バイオマス資源の「地産地消」による発電
- 林業の再生、山の整備・保全
- 地域振興
- 環境負荷低減



株式会社 福井グリーンパワー
FUKUI GREEN POWER Co., Ltd.

本社/〒912-0821 福井県大野市七板第41号2番地 TEL (0779) 64-5801 <http://www.kobelco-eco.co.jp/fgp/>

この記事は各新聞社の許諾を得て転載しています。
著作権は各新聞社、またはその情報提供者に帰属します。
この記事を第三者へ提供することは禁止されています。